

くらしたい国、富山

とやまファン  
倶楽部

No.23

2009



CONTENTS

リレーエッセイ 22/炭谷 茂	2P
第14回とやまファン倶楽部会員交流会	3P
とやま賞	4P
「夢の卵」育成事業	5P
会員交流広場	6P
富山県からのお知らせ	7P

## 異文化との交流

炭谷 茂さん



プロフィール

炭谷 茂(すみにに しげる)  
1946年富山県高岡市生まれ。  
1969年東京大学法学部卒業後、  
厚生省(当時)に入る。厚生省社会・  
援護局長等を経て、2003年 7月環  
境事務次官に就任。2006年 9月退  
任。現在社会福祉法人恩賜財団  
済生会理事長、(財)地球・人間環  
境フォーラム理事長、学習院大学  
特別客員教授、(財)日本更生保護  
協会理事、朝日新聞厚生文化事業  
団評議員等を務める。また、国家公  
務員在職中から一個人として障害者、  
ホームレス、引きこもりの若者、刑余  
者などへの就労支援、貧困地域の  
まちづくりなど社会貢献活動に従事。  
最近の著書に「私の人権行政論」  
(解放出版社2007年)、「環境福祉  
学の理論と実践」(編著、環境新聞  
社、2006年)、「社会福祉の原理と  
課題」(社会保険研究所、2004年)  
「地球環境問題の新常識」(共著、  
東洋経済新報社、2004年)「高齢  
者看護学」(分担執筆、中央法規、  
2006年)

高岡法科大学学長吉原節夫先生から  
依頼を受けて同大学で社会福祉論の講  
義を引き受けて既に4年度目に入った。

大学での講義は、今から25年前に埼玉  
大学大学院での社会保障論が初めてで  
あった。その後本務の方はかなり忙しか  
ったが、行政学、公共政策論、社会保障、  
医療、環境など多分野について教えてみ  
ると教えてきた大学は12になる。教え  
ることは、自分の研究のペースメーカー  
になる。怠け者の私は、動機がないと勉  
強しない。共著を含め30冊以上著書を出  
せたのは、大学での講義のおかげであ  
る。この成果を本務の方にも生かせる。

中でも19歳まで育った高岡法科大学  
での講義には、他大学にない特別の思い  
があり、講義に力が入る。時には高岡市  
役所OBの高井靖夫さん、県職員の日田  
徹さんなどが聴講してくれるのは、地元  
ならではのである。集中講義方式で前期、  
後期のそれぞれ2単位分(90分15回)を  
行う。

実際に福祉の現場で活躍している人  
の話も入れた方が、学生にはなじみの薄

い福祉の理解が深められるので、県内で  
福祉に従事する人にも分担してもらおう。

県社会福祉協議会の野田智さん、社会  
福祉法人秀愛会の澤田和秀さん、社会  
園の西浦博良さんなどと多彩である。  
皆さん積極的に協力してくれるから嬉  
しい。学生によっては私より現場の人の  
話の方が勉強になったという声が出る。

最近高岡法科大学では中国からの留  
学生も混じる。日本語が短期間で分か  
るのか心配になるが、一般の人が想像す  
る以上に日本語がうまい。大学の授業  
には支障がない。試験答案を見ても日  
本語による解答はしっかりしている。中  
には日本人学生よりも優れた論文をま  
とめる者もいる。卒業後これらの学生  
が日中交流に関係していくならば、両国  
の関係に大変良い結果を及ぼす。高岡  
法科大学で学んだということ富山県  
の理解者になるだろう。

今年11月、東京大学の駒場祭に招かれ、  
環境福祉と国際交流について基調講演  
と合わせ、出席者との討論を2時間半

行なった。具体的な議論を展開するため、  
北京大学大学院2年生で7月間の予定  
で日本の企業にインターンとして勉強  
に来ている女性にも担当してもらったこ  
とにした。

硬いテーマであっただけに、参加者の  
人数が気がかりだった。他の会場では美  
人コンテストなど軟派系が圧倒的であっ  
たが、80名くらいの人が熱心に参加して  
くれ、企画は成功だった。北京大学院生  
は、中国の少数民族の壮族出身であるが、  
向学心は並みではない。日本のあらゆる  
ものを吸収しようとする。現下の中国  
の環境問題の解決のヒントは、何でも掘  
もつと必死である。情熱の程度は、東大  
生をはつきりと凌駕している。

社会の進歩は、他の文化や文明をいか  
に取り入れ活用するにかかっている。  
現在放映中のNHKドラマ「坂の上の雲」  
は、海外から押し寄せる先進国の文明  
の刺激が、日本人の行動をかきたてたこ  
とを描く。

富山県には「旅の人」という必ずしも  
肯定的な意味が含まれない言葉が残る。

私は、富山県が今後発展していくための  
絶対条件は、「旅の人」をいかに積極的  
に迎え入れるにかかっていると確信  
している。

県外の人、国外の人がどれだけ富山  
県に暮らす、学ぶ、働く、遊ぶかによつて  
富山県が活性化するか決まる。富山県  
の外国からの観光客数は急上昇してい  
ることは、大変素晴らしい兆候だと思つ  
て。大学、企業などにも県外の人や外国人  
が増えたい。県外出身者や外国人の居  
住者比率が、今後の富山県の発展の指  
標になる。

若いころイギリスで仕事をしていた  
時、外国出身の人がごく自然にイギリス  
社会に溶け込んでいると感じさせられ  
た。第2次世界大戦中イギリス政府は  
戦禍を逃れた外国人を積極的に受け入  
れた。イギリスの懐の深さであるが、彼  
らがイギリスの戦後の経済や学問、文化  
の発展を支えた。治安や雇用問題を心  
配する人もいる。しかし、多様性こそ社  
会の進歩の源である。これは世界の潮  
流でもある。

# 第14回とやまファン倶楽部会員交流会

開会挨拶



石井知事

開会挨拶



中沖理事長

開会挨拶



川田代表世話人

新入会員の皆様紹介



乾杯



綿貫衆議院議員

会員と富山県及び会員相互の情報交流の場である「とやまファン倶楽部会員交流会」が7月21日(火)にホテルフロラシオン青山(東京)で140余名の会員の皆様の参加のもと盛大に開催されました。

会場内では、映画「劔岳 点の記」の紹介ビデオを放映したほか、「夏マグロ」や「シロエビ」をはじめ富山の新鮮な食材を使った料理や地酒を用意し、会員の皆様に富山の味を堪能していただきながら、示唆に富んだご助言・ご提案を多くいただきました。

お礼の言葉



梶川議長

## 4回とやまファン倶楽部会員交流会



いきいき富山館からのお知らせ



TOYAMA  
FAN CLUB

◆ 今年度の受賞者 ◆

とやま賞



富山大学大学院医学薬学研究部  
准教授  
大塚 稔久氏

学術研究部門  
(神経科学)



(独)農業生物資源研究所  
上級研究員  
井澤 毅氏

学術研究部門  
(植物分子遺伝学)



長谷川体育施設(株)  
山崎 勇喜氏

スポーツ部門  
(競歩)



映画監督  
市井 昌秀氏

芸術文化部門  
(映画)



平成21年度 「とやま賞」贈呈式

とやま賞とは

「とやま賞」は、富山県の置県百年を記念し、富山県の将来を担う有為な人材の育成に資する目的をもって昭和59年に創設され、今回で26回目を迎えました。

受賞対象者は、富山県出身者又は富山県内在住者とし、学術研究、発明発見、芸術文化及びスポーツの分野において顕著な業績を挙げ、かつ、将来の活躍が期待される個人又は団体を対象としており、県内外で活躍されている方を表彰し、その活動を奨励しております。

今年度の贈呈式及び記念落語会は、5月28日(木)に富山県教育文化会館ホールで行われ、学術研究部門で2名、芸術文化部門で1名、スポーツ部門で1名の、計4名の方が受賞されました。

平成21年度 贈呈式及び記念落語会

■ 贈呈式

- ◆ あいさつ／理事長 中沖 豊
- ◆ 選考経過報告／選考委員長 金岡 祐一
- ◆ 「とやま賞」贈呈
- ◆ 祝辞／富山県知事 石井 隆一  
富山県議会議長 梶 敬信
- ◆ 各受賞者の言葉

■ 記念落語会

- ◆ 出演  
立川 志の輔氏  
(第7回「とやま賞」受賞者)



「夢の卵」  
育成事業



子どもたちにいろいろな可能性を秘めた夢を数多く持ってもらい、自分の将来について考えてもらうため、将来の夢を書いた作文を募集し、優秀者を各分野の第一人者のもとに派遣する事業です。

今年度は689作品の応募があり、その中から選ばれた5名の子どもたちに、夏休み期間中、夢に一步近づいてもらうために、短期入門してもらいました。

## 小学生の部

富山市立堀川南小学校6年 村上 千紗さん

入門  
内容

「人の心を癒し元気づける音楽療法士になりたい」という夢を抱きながら岐阜県音楽療法研究所に短期入門しました。



射水市立作道小学校5年 荒谷野乃香さん

入門  
内容

「誰かに読んであげたくなる心の絵本を作りたい」という夢を抱きながら岩崎京子さん(児童文学作家)、清藤宏さん(イラストレーター)のもとに短期入門しました。



滑川市立東部小学校6年 米山 駆さん

入門  
内容

「強い心を持った日本一のラグビー選手になりたい」という夢を抱きながらN E Cラグビーフットボール部に短期入門しました。



## 中学生の部

砺波市立庄西中学校1年 山田明日香さん

入門  
内容

「リアルな匂いと感触のある食品サンプルを作る職人になりたい」という夢を抱きながら竹内繁春さん(‘食品模型のアイデア’社)、岡邦夫さん(肴旭食品サンプル製作所)のもとに短期入門しました。



滑川市立早月中学校1年 高橋 侑花さん

入門  
内容

「開発途上国を支援する国際公務員になりたい」という夢を抱きながら国連難民高等弁務官駐日事務所に短期入門しました。



# 会員交流広場

～皆様からのメッセージの一部紹介～

今年度の会員交流会(7月21日(火)開催)のご案内にあわせて皆様からいただきましたメッセージを、当財団のホームページ(<http://www.t-hito.or.jp/fan/set06.htm>)に掲載させていただいております。「富山県への助言」の一部をご紹介します。



多くの会員の皆様で賑わった会員交流会

若者が楽しいと思う場が少なすぎると思います。どこかのテレビ局に1時間番組を提供して解放区にしてはどうでしょうか。

農林水産業にハイテクを導入することはできませんか、各種の専門家を入れた委員会でも論議したらどうでしょう。

他県動向、他人の目を意識せず、精勤な自助努力旺盛な富山精神をもって県民の必要とする施策を着実に進めていってください。

新しいことに挑戦しようとしている人、特に若者の意見をもっと取り入れてほしいと思います。

富山空港からの近距離国際線が数多く就航すればよいと思います。富山観光の国際化を図るべきではないでしょうか…

自然と一体となった富山の人々の暮らし、その良さをなくさないで下さい。離れるとよけいに富山の自然の贅沢さと豊かさ、それが守られていることが誇りです。今流行の環境保全、食育、地産地消にびったりだと思えます。

「温泉と水」をもっとPRして県外からの観光客を呼び込みましょう。

富山の観光の拠点として‘立山’のすばらしさをもっと宣伝されることを望みます。また、富山・高岡に集積する工業技術力の優秀さをもっと全国的にPRすべきでは。

川の水を大切に。急流ですから澄んだ水にする事は住民の心掛け次第です。鮭や鱒が群れをなして遡上する姿を早く見たいものです。

鱒寿司は全国的に有名になりましたが、イカの黒作り、かぶら寿司、昆布めめ等についてももっと全国に紹介したほうが良いのではないのでしょうか。

富山独特の風習や文化をもっとPRしたら来県者も増えるのでは。他県者がビックリすることを富山県民は気付いていない。

21世紀は、とやまの時代である。国土の中央に位置する地理的利点、自然環境に恵まれ、山あり川あり海あり、「とやま」は人物の宝庫である。ソフト面での人材の豊富な「とやまの知」をもっとPRして然るべきであるし、できる郷土である。

Uターンを奨励していらっしゃる富山県は他県が見習うべきです。出来れば公がバックアップする合奏団が欲しいです。秋田県のアトリオン室内オーケストラのようなものが。

全国に向かっての情報発信のためにマスコミ、映画界、県出身者ないし県にエールを送って下さる文化人、有識者の活用、依頼方に更に力を入れていただきたいと願っております。

新幹線が走るようになっても東京の真似などしないで、田舎の魅力を失わないでどんどん自己主張してほしいと思います。

散居村のすばらしい景観を維持して下さい。高速道路が交差し、インターチェンジが増え、白い流通倉庫が目立つのは残念です。

都道府県を単位としている県人会の下部組織と県内の市町村との交流の場をもっと拡大する工夫が必要では。例えば子ども達の交流をもう少し拡大しては如何でしょうか。

## 越中料理 ～とやま冬のおもてなし2010～

冬の富山湾は、鰯、蟹、甘エビ…美味しい魚介の宝石箱です。そんな富山が誇る「魚」を美味しくお召し上がりいただくために、和食料理家の道場六三郎氏を審査委員長に迎え、『おもてなし「越中料理」コンテスト』を開催。みごと入賞した料理が味わえるキャンペーンを実施します。ランチ、ディナー合わせて12点の『おもてなし「越中料理」』が、期間限定で入賞者の各店にてお楽しみいただけます。

越中・富山のこの冬だけの味覚で、おもてなしいたします。ぜひこの機会にご賞味ください。

**期間** 1月25日(月)～2月24日(水)

**場所** 富山県内の各店



◇ディナー部門 最優秀賞  
『早春の富山から 鰯と蟹と地物野菜』  
(五万石本店)

(問い合わせ先) 富山県地域振興課 TEL:076-444-9605  
詳細は、富山県HP (<http://www.pref.toyama.jp/>) をご覧ください。

## あなたの応援で富山県を元気に！ — 元気とやま応援寄附金 —

「元気とやま応援寄附金（ふるさと納税）」は、富山県に寄附をされると、所得税や住民税が軽減される制度です。

ふるさと富山県の人づくり、地域づくりを応援したいという皆さんの思いをカタチにさせていただきます。

皆さんからいただいた寄附は、「元気とやまの創造」のために大切に活用させていただきます。

### ◇所得税・住民税の軽減例

給与収入1千万円で4人家族(夫婦・子ども2人)の方が、8万円寄附されると、所得税と住民税が7万5千円軽減され、実質的な負担は5千円となります。

### (問い合わせ先)

富山県税務課 元気とやま応援寄附金担当  
TEL:076-444-3178

富山県HP <http://www.pref.toyama.jp/>  
「元気とやま応援寄附金」をクリックしてください

# TOYAMA FAN CLUB



## 問合せ先

### ■事務局

財団法人 富山県ひとづくり財団

〒930-0018 富山県富山市千歳町1-5-1 富山県教育記念館2階

TEL076-444-2000/FAX076-444-2001

E-mail:toyama@t-hito.or.jp <http://www.t-hito.or.jp>

### ■連絡所

富山県東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館13階

TEL03-5212-9030/FAX03-5212-9029

富山県大阪事務所

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-9-15 近畿富山会館3階

TEL06-6445-2811/FAX06-6445-2611

富山県名古屋事務所

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4階

TEL052-261-4237/FAX052-263-7308